
クソゲーと俺の神ゲー戦争

ばーなー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

クソゲーと俺の神ゲー戦争

【Nコード】

N8784X

【作者名】

ばーなー

【あらすじ】

クソゲープレイ中に現れたクソゲー代表を名乗る錆びた鎧を着たグラメットとなる男に勝手にプレイヤー設定をされ、神ゲー戦争なるクソゲーに巻き込まれる俺。この先俺はどうなるのか…。

クソゲーと出会った (前書き)

思いつきで描いたので、いつとぎれるかもわからないものです。もう書かないかもwまあ暇だったら読んでやってください。

クソゲーと出会った

俺はクソゲーと呼ばれるものが好きだ。

リズムが外れてタイミングが全く合わないリズムゲー。

CPUの強さが序盤からチート級で全く進めないRPG。

どのルートもバグだらけで攻略が困難なギャルゲー。

これらのクソゲーは俺以外から見りゃ「金の無駄」「時間の無駄な浪費」「無駄な労力」と不満の塊だ。

しかし俺から見れば「攻略難度MAXの神ゲー」なのだ。

いかに負を正に変えていくかがクソゲーの楽しみでもある。

それが今の俺の生甲斐だ。

さて、話は変わるが俺は今授業を受けている最中である。

無論授業は聞かず、3か月前から苦戦しているクソゲーRPGをプレイ中である。

このゲームの特徴は1から3面までは良ゲーとして認知されているが、4面以降はレベルが上がらないという鬼畜使用。

さらに敵モンスターのレベルは面を追うことに尋常じゃないぐらいアップするので、そこでも難易度がまた上がる。

そんなゲームを毎日3面で留めながらレベル上げに勤しんでいる。

アップデートも期待されていたようだが、制作会社が多重の債務を抱え倒産。

結局、クソゲーはクソゲーのまま俺の手へと渡ってくるのである。

勇者あああは死んでしまった

スタートに戻ります

はじめから

オプション

終わる

ついでに言うとセーブを書くことが出来ない「続きからの項目が消失している。

いままでのクソゲーとは違い俺の中のクソゲーランクはSS《ダブルス》ととても高い位に置いてある。

それだけ評価が高いということだ。

そして俺はまた最初からプレイを始めるのである。

名前はなににしますか？

ああああ

冒険を始めます準備はいいですか？

はい

いいえ

…

…ん？おかしいな…いつもならここでもどろどろの気持ち悪いモンス
ターが出てくるのだが…。
フリーズしてるぞ？

まあクソゲーにはありがちなブラックアウトだが、今まで200回
もやっててこんなことは一回もなかった。
どうしたんだ？

…フフ

ヨウヤクデアエタ

キサマヲオレノプレイヤートシテムカイイレヨウ

…はあ？ついに逝かれたか…？。
まあクソゲーだしな。
よし！切るかw

パシッ！！

ん！？消えない

パシッ！！！！

あれ？主電源落としたのに

カチャ…ポロツ

ええ…。バッテリー切ったのについてるよ。

オマエハエラバレタノダ

オマエニセンタクケンハナイ

サアヨロコブガイイ。オレニセンタクサレタコトヲ!!

キュイイイイン!!

はあ!?

俺の携帯ゲーム機が光を放つだとおおおお!!?

そして俺の意識はここで途絶えるのであった。

んん…。頭が痛い。

「おい」

何か聞こえる…。

「おい！起きんか馬鹿者」

うう…。誰だ耳元で騒ぐな、頭に響く。

「いつまで寝てるつもりだ！！」

「あああうつとしーわあああああ！！！！」

俺は起きると同時にそのうつとうしい存在に一発パンチを入れてやった。

「おうふ…痛い…」

くそお…。ん！？どこだここ！？

あたりは真っ暗で何も無い永遠に暗闇が続くような場所だった。

「くそ…いきなり殴りやがって！！！」

と、錆だらけの鎧を着た黒髪の男と思しきものが起き上がりながら文句を垂れている。

「おいこの野郎！俺をどこに連れてきやがった！！！」

「ちっ…あんまり騒ぐなよ」

「これが騒がずにいられるか！！！」

「ああめんどくせ…説明すつから待つとけ」

「俺の気を静められるような理由なんだろうな？」

「……………」

男は体制を立て直し立ち上がった。いった。

「お前は俺のプレイヤーとなった！！これからお前はこのクソゲー様と共に神ゲーの座を取りに行く！！異論は…認めん！」

「はあああああ？」

こうしてクソゲーと俺の神ゲー戦争が幕を開けるのであった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8784x/>

クソゲーと俺の神ゲー戦争

2011年10月24日01時19分発行